

仕 様 書

年 度	令和 5 年度		
場 所	三原市幸崎能地七丁目		
名 称	市道幸崎23号線外1路線 φ 75mm配水管布設替工事		
種 別	配水施設整備	第	号
期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで (契約締結後 日間)		
概 要	配水管 φ 75mm HPPE L=397.3m		
	仕切弁 φ 75mm N=2基 φ 50mm N=1基		
	空気弁 φ 25mm N=2基		
	給水装置 φ 20mm N=8箇所		
	排水管 N=2箇所		
	仮設工 1式		
	アスファルト舗装 t=5cm A=667m ²		
	コンクリート舗装 t=10cm A=279m ²		

特記仕様書

第1章 総則
第1節 適用

- 1
- 本特記仕様書は、三原市幸崎能地七丁目 市道幸崎23号線外1路線φ75mm配水管布設替工事に適用する。
- 2
- 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・水道工事共通仕様書（令和5年4月）広島県水道広域連合企業団三原事務所
 - ・土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島県※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・水道工事標準仕様書 平成22年 日本水道協会
 - ・その他関連規格類

第2節 法定外の労災保険の付保

- 1
- 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2
- 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。
- 3
- 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件
第1節 工程

- 1
- 施工時期・時間の制限

施工内容	残土運搬
時期	全工事期間
時間	9：00～16：00（作業可能時間）
施工方法・理由	搬入路が通学路であるため、登下校時間は工事用車両の通行を行わないこと。
- 2
- 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）
移設期間	

第2節 公害対策

- 1
- 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。（設計変更の対象とする。）
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	工事箇所から1.0m範囲

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
掘削作業期間、交代要員を含めた交通誘導員を3（人／日）配置すること。

第7節 盛土

- 1 流用土（工事内流用）
本工事の施工により発生する土のうち、110m³（地山土量）については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。
- 5 再生砂（搬入）
本工事では、80m³の砂購入を見込んでいる。
使用する再生砂がセメント及びセメント系固化材を使用した再生砂の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第8節 建設副産物

- 4 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））
当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。
- 7 産業廃棄物の場外保管
当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第9節 建設副産物の取り扱いについて

- 建設副産物 本工事における建設副産物の取扱いについては、水道工事共通仕様書 1.1.19 建設副産物（再生資源利用計画）、（再生資源利用促進計画）及び（実施書の提出）によらず、次のとおり取り扱う。
- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
 - 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
 - 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

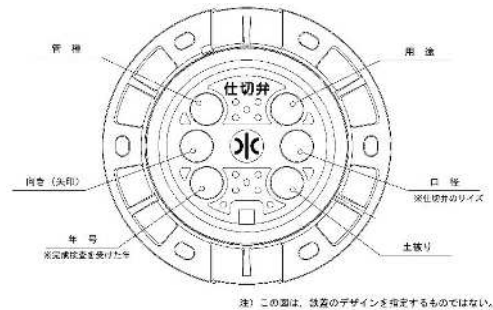
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

第4章 その他

第1節 施工管理

1 弁類

- (1) 弁類台帳等(仕切弁・空気弁・消火栓・既設連絡部)は、監督員との協議のうえ、必要に応じて作成するものとする。作成するに至った場合は、その設置位置を管理するためにオフセット写真を提出するものとする。
- (2) 弁類(消火栓も含む)の受枠(下柵)の微調整については、原則として無収縮モルタルを使用するものとする。また、レジンコンクリート及び铸铁製の受枠については、調整リング(再生)を使用しなければならない。
- (3) ねじ式仕切弁鉄蓋の設置は、調整代の中間にセットした状態とし、原則として当該工事における舗装仕上げ時等の調整に用いないこと。
- (4) 丸型空気弁鉄蓋については、ロック付きとすること。
- (5) 丸型消火栓鉄蓋について、受枠がハット形以外のものを使用する場合は、レジンコンクリートボックスと受枠の隙間に必ず無収縮モルタルを充填し、一体化させること。
- (6) 多機能表示仕切弁用鉄蓋に表示する情報表示プレートは、次の通りとすること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。



2 本管・給水管

- (1) 配水管等を破損した場合は速やかに監督員に連絡し、指示を受けなければならない。また、その始末書及び事故報告書を7日以内に提出しなければならない。
- (2) 原則、給水管布設時には第一止水栓迄を布設替え対象とし、宅内に設置しなければならない。宅内に設置が困難な場合には、所有者又は使用者に承諾を得て、官民境界の管地側で既設管と接続することとする。(設計変更の対象とする。) また、分岐写真(耐圧状況含む)を工事写真とは別に給水台帳と共に提出しなければならない。

3 埋戻し

管周りの埋戻し材は、処理土(改良土を含む)を使用しないこと。

- 4 舗装
舗装時に仮復旧状態の場合は「W1」、本復旧状態の場合は「W2」を表示しなければならない。また、その規格・寸法については別紙1によるものとする。
- 5 試験・検査
本工事における試験及び検査などについては、監督員の指示に従うものとする。
- 6 サンドエロージョン対策
他の埋設物との離隔が確保することが困難なときは、原則として水道本管に保護用ブタジェンゴムシート（幅350mm・厚さ2mm）を3重巻きし、6mmの厚さに仕上げる。なお、これにより難しい場合は、ブタジェンゴム製耐摩板（幅330mm・厚さ6mm）を設置すること。

第2節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

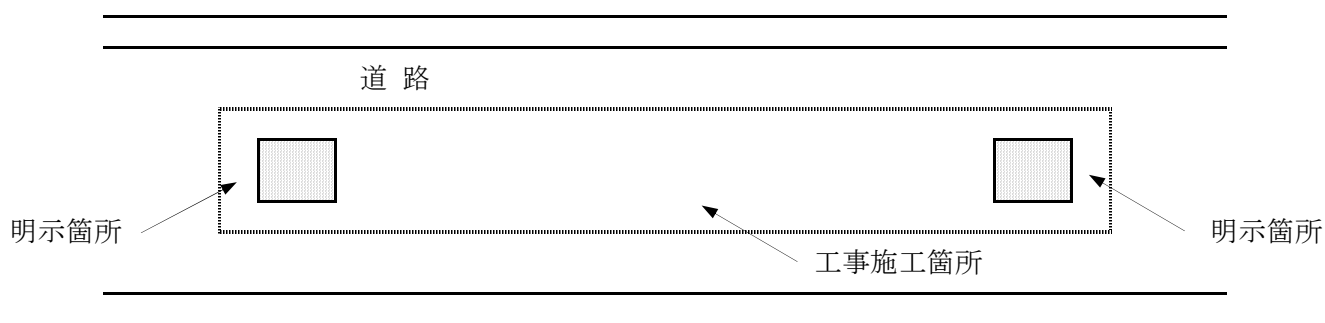
第3節 その他

- 1 本設計書における配管図等は参考資料であり、現場をよく調査・検討した上で詳細な配管図等を監督員に打合せ簿により提出すること。
- 2 近接する地域住民に工事内容等を十分に周知したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
- 3 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。
- 4 原則、路面標示は原形復旧を見込んでいるが、横断歩道部、自転車横断帯、速度規制、交差点内の誘導表示、矢印の実践と破線等の復旧について表示方法の変更や、復旧が不要となる場合があるので、復旧前に三原警察署交通課へ協議を行うこと。

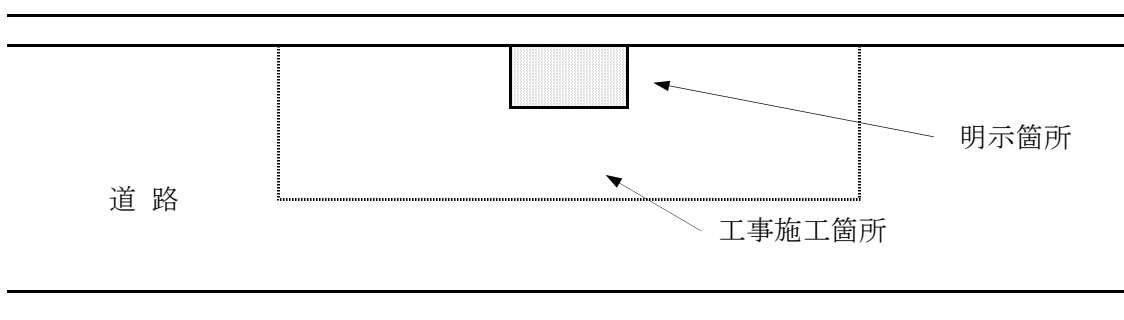
道路の掘削工事における舗装復旧者表示について（平成11年3月23日付三監第623号通達）

1. 明示箇所

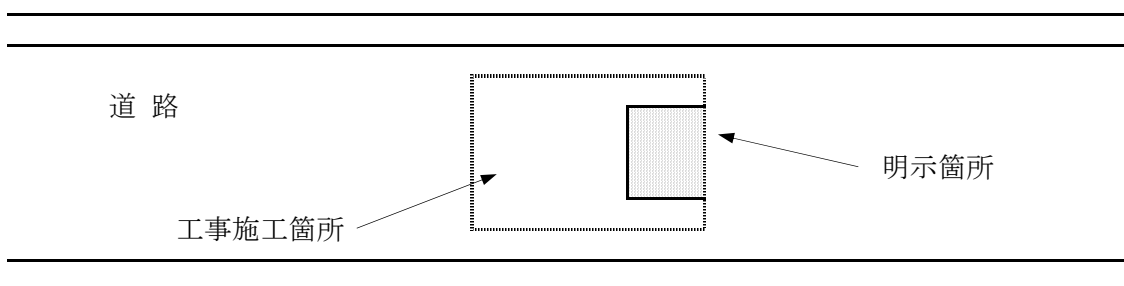
ア) 道路縦断方向の工事



イ) 道路横断方向の工事

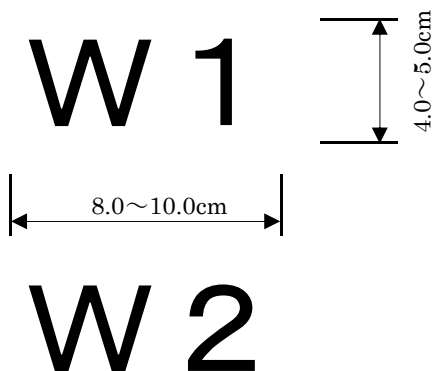


ウ) 道路部分工事



2. 明示方法

- ① 縦4.0～5.0cm × 横8.0～10.0cmで舗装に記入。
（文字型枠を使用し、ペイント吹き付けすることが望ましい。）
- ② 明示色 白色ペイント
- ③ 仮舗装復旧状態：W 1
本舗装復旧状態：W 2



工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
本工事	1	式				
管路(配水管) φ75 HPPE	1	式			Lv1	
管きょ工(開削)	1	式			Lv2	
管路土工	1	式			Lv3	
管路掘削	1	式			Lv4	
管路埋戻 再生砂	1	式			Lv4	
管路埋戻 発生土	1	式			Lv4	
発生土処理	1	式			Lv4	
管布設工	1	式			Lv3	
	1	式				

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
管材料	1	式			Lv4	
その他材料	1	式			Lv4	
水道配水用ポリエチレン管布設	397.3	m			Lv4	
管明示シート敷設	397.3	m			Lv4	
制水弁設置	2	基			Lv4	
空気弁設置	2	基			Lv4	
制水弁室(築造)設置	2	箇所			Lv4	
空気弁室(築造)設置	2	箇所			Lv4	
管布設工(排水管)	1	式			Lv3	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
管材料	1	式			Lv4	
その他材料	1	式			Lv4	
鋼管据付	2.4	m			Lv4	
水道配水用ポリエチレン管布設 φ50 HPPE	0.4	m			Lv4	
管防護工	1	式			Lv4	
管明示シート敷設	3.4	m			Lv4	
制水弁設置	1	基			Lv4	
制水弁(築造)設置	1	箇所			Lv4	
付帯工	1	式			Lv2	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版撤去工	1	式			Lv3	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版取壊	1	式			Lv4	
殻運搬処理	1	式			Lv4	
舗装仮復旧工	1	式			Lv3	
下層路盤	1	式			Lv4	
上層路盤	1	式			Lv4	
表層（仮舗装）	1	式			Lv4	
安全費	1	式			Lv2	
	1	式				

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
安全費	1	式			Lv3	
交通誘導員	1	式			Lv4	
管路(給水装置)	1	式			Lv1	
給水管連絡工	1	式			Lv2	
管路土工	1	式			Lv3	
管路掘削	1	式			Lv4	
管路埋戻 再生砂	1	式			Lv4	
管路埋戻 発生土	1	式			Lv4	
発生土処理	1	式			Lv4	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
管布設工	1	式			Lv3	
管材料	1	式			Lv4	
その他材料	1	式			Lv4	
給水管連絡	1	式			Lv4	
制水弁室(築造)設置	8	箇所			Lv4	
付帯工	1	箇所			Lv2	
舗装版撤去工	1	式			Lv3	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版取壊	1	式			Lv4	
	1	式				

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
殻運搬処理	1	式			Lv4	
舗装仮復旧工	1	式			Lv3	
下層路盤	1	式			Lv4	
上層路盤	1	式			Lv4	
表層（仮舗装）	1	式			Lv4	
管路（既設管撤去）	1	式			Lv1	
管きょ工（開削）	1	式			Lv2	
管路土工	1	式			Lv3	
管路掘削	1	式			Lv4	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
管路埋戻 発生土	1	式			Lv4	
発生土処理	1	式			Lv4	
管撤去工	1	式			Lv3	
既設管撤去	1	式			Lv4	
既設管処理	1	式			Lv4	
付帯工	1	式			Lv2	
舗装版撤去工	1	式			Lv3	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版取壊	1	式			Lv4	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
殻運搬処理	1	式			Lv4	
舗装仮復旧工	1	式			Lv3	
下層路盤	1	式			Lv4	
上層路盤	1	式			Lv4	
表層（仮舗装）	1	式			Lv4	
安全費	1	式			Lv2	
安全費	1	式			Lv3	
交通誘導員	1	式			Lv4	
管路（仮設管）	1	式			Lv1	
	1	式				

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
管きょ工(開削, 仮設)	1	式			Lv2	
管路土工	1	式			Lv3	
管路掘削	1	式			Lv4	
管路埋戻 発生土	1	式			Lv4	
発生土処理	1	式			Lv4	
管布設工	1	式			Lv3	
管材料	1	式			Lv4	
仮設管布設	1	式			Lv4	
管撤去工	1	式			Lv3	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仮設管撤去	1	式			Lv4	
給水管布設工	1	式			Lv3	
仮設給水管布設	1	式			Lv4	
付帯工	1	式			Lv2	
舗装版撤去工	1	式			Lv3	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版取壊	1	式			Lv4	
殻運搬処理	1	式			Lv4	
舗装仮復旧工	1	式			Lv3	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
下層路盤	1	式			Lv4	
上層路盤	1	式			Lv4	
表層（仮舗装）	1	式			Lv4	
安全費	1	式			Lv2	
安全費	1	式			Lv3	
交通誘導員	1	式			Lv4	
舗装本復旧工	1	式			Lv1	
舗装本復旧工	1	式			Lv2	
舗装版撤去工	1	式			Lv3	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版切断	180	m			Lv4	
舗装版取壊	939	m2			Lv4	
殻運搬処理	52	m3			Lv4	
管路土工	1	式			Lv3	
管路掘削	1	式			Lv4	
発生土処理	1	式			Lv4	
舗装本復旧工	1	式			Lv3	
不陸整正	667	m2			Lv4	
表層	667	m2			Lv4	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート舗装	279	m ²			Lv4	
区画線工	1	式			Lv3	
溶融式区画線	118	m			Lv4	
安全費	1	式			Lv2	
安全費	1	式			Lv3	
交通誘導員	1	式			Lv4	
直接工事費計	1	式				
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
技術管理費	1	式				
水圧試験 既設管連絡注水	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
消費税等相当額	1	式				
合計						

市道幸崎23号線外1路線 φ 75mm配水管布設替工事

【 第 1 号 明細書 】						
水圧試験 既設管連絡注水					1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
通水試験工 既設管連絡注水 給水車不要	397.3	m			施 78 号	
通水試験工 既設管連絡注水 給水車不要	417	m			施 78 号	
計						

市道幸崎23号線外1路線φ75mm配水管布設替工事

【 第 1 号 A代価表 】 管材料 φ75 HPPE 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
水道配水用ポリエチレンEF受口付直管 φ75×5,000	64	本				
水道配水用ポリエチレンレーンエント直管 φ75×5,000	15	本				
水道配水用ポリエチレンEF45°両受曲管 φ75	3	個				
水道配水用ポリエチレンEF22 1/2°両受曲管 φ75	24	個				
水道配水用ポリエチレンEF11 1/4°両受曲管 φ75	1	個				
水道配水用ポリエチレンEF45°片受曲管 φ75	3	個				
水道配水用ポリエチレンEF22 1/2°片受曲管 φ75	1	個				
水道配水用ポリエチレンEFソケット φ75	9	個				
水道配水用ポリエチレンEF両受チース φ75×φ50	1	個				

市道幸崎23号線外1路線 φ75mm配水管布設替工事

【 第 1 号 A代価表 】 (続 き)						
管材料 φ75 HPPE				1 式 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
PE挿し口付FCDフランジ付T字管 φ75×φ75 RFガasket含	2	個				
PVジョイント 離脱防止付 φ75 内外面粉体 合金BN	3	個				
PE挿し口付FCDソフツール仕切弁 φ75 内外面粉体 内ねじ式 7.5K以下	2	基				
浅層埋設形急速空気弁 φ25 乙型 (ねじ込み型) 7.5K	2	基				
FCDレバー式ボール形補修弁 φ75×H150 形式2 7.5K	2	基				
RF・GF兼用形ステンレス入りフランジ接合材 φ75 ステンレス入ガasket SUS304緩み止BN 7.5K	2	組				
GF形フランジ接合材 φ75 ガasket 1号 SUS304BN 7.5K	2	組				
フランジ接合用緩み止め六角ボルト・ナット φ75 SUS304 (焼付防止) 7.5K	2	組				
計						

市道幸崎23号線外1路線 φ75mm配水管布設替工事

【 第 2 号 A代価表 】							1 式 当り
管材料 排水管							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 φ25A ねじ無外面亜鉛めっき	2.4	m					
水道用ライニング鋼管用管端防食形エルボ φ25A 埋設配管用 内外面樹脂塗装	6	個					
水道用ライニング鋼管用管端防食形フラグ φ25A 埋設配管用 内外面樹脂塗装	2	個					
FCDメタル入り合フレンジ φ50×φ25 内外面粉体 RF10.0K	1	枚					
水道配水用ポリエチレンFCDフレンジEF短管 1 号 φ50 GFカスケツト含	1	個					
水道用立形タイル铸铁仕切弁 φ50 内面粉体 内ねじ式 7.5K以下	1	基					
計							

市道幸崎23号線外1路線 φ75mm配水管布設替工事

【 第 3 号 A代価表 】						
管材料 給水装置						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ポリエチレン用鋳鉄製A形ボール式サドル付分水栓 φ75×φ20	8	基				
計						

市道幸崎23号線外1路線 φ75mm配水管布設替工事

【 第 4 号 A代価表 】						
管材料 φ80						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレス直管 φ80A×4,000 SUS304 2.0MPa	82	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレス直管 φ80A×2,000 SUS304 2.0MPa	19	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレス直管 φ80A×1,000 SUS304 2.0MPa	13	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレス直管 φ80A×500 SUS304 2.0MPa	7	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレス直管 φ80A×300 SUS304 2.0MPa	3	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレスフレキ管 φ80A×1,000 SUS304 1.0MPa	24	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレス90°エルボ φ80A SUS304 2.0MPa	25	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレスフランジ φ80A SUS304 0.75MPa	1	本				
ｸﾞﾚｰ型仮設配管用ステンレスボールバルブ φ80A SUS304 1.0MPa	1	基				

市道幸崎23号線外1路線 φ75mm配水管布設替工事

【 第 4 号 A代価表 】 (続 き) 管材料 φ80 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
グロ-型仮設配管用ステンレス取出し短管 φ80A×φ20A SUS304 1.0MPa	11	本				
グロ-型仮設配管用ステンレス受け×受け φ80A SUS304 2.0MPa	1	本				
グロ-型仮設配管用ステンレス撤去用直管 φ80A SUS304 2.0MPa	2	本				
グロ-型仮設配管用ステンレスマルチジョイント φ80A SUS304 0.75MPa	1	個				
計						